

(仮称)

# 加茂BSスマートIC整備により期待される効果

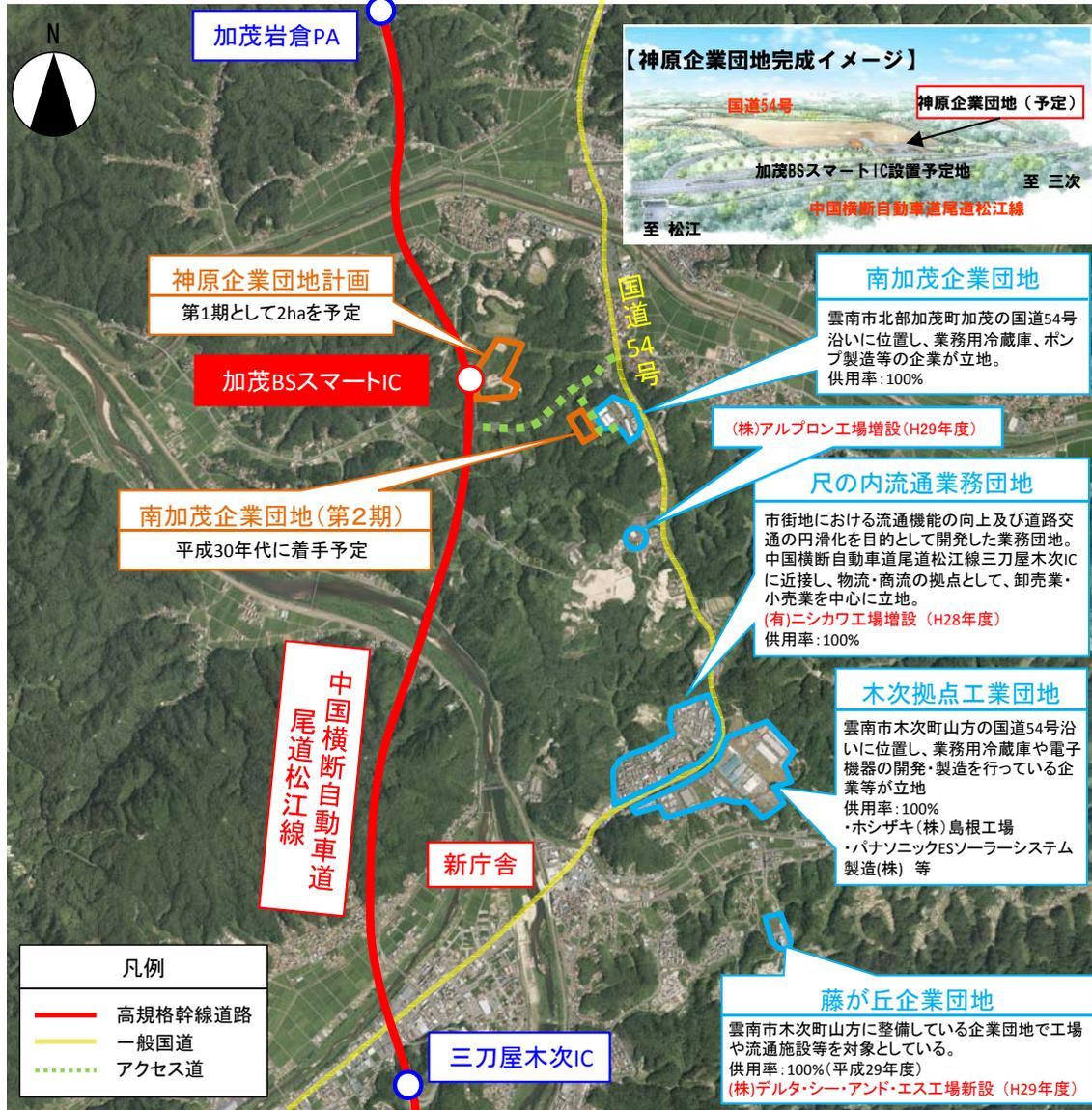
平成29年7月



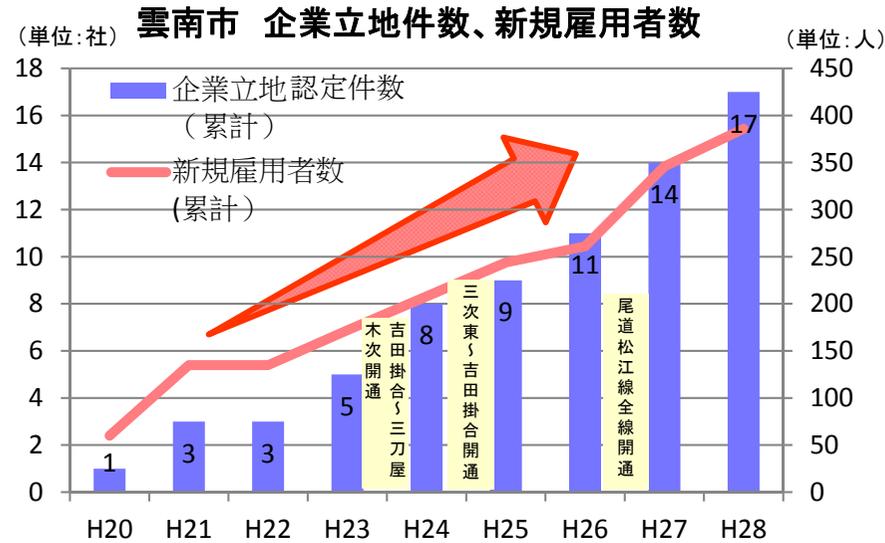
# 1. 企業団地との一体整備による企業進出

- 尾道松江線の開通等により雲南市内の企業団地に相次いで企業が進出しており、平成29年度にはこれまで市内で仮操業していた企業が高速道路のアクセス性の良さを理由に藤が丘企業団地に新工場を建設予定。移転増設後は雲南市内における企業団地の供用率は100%。
- 雲南市では加茂BSスマートICに直結させる神原企業団地の計画・整備を推進しており、今後はより一層の企業進出に期待。

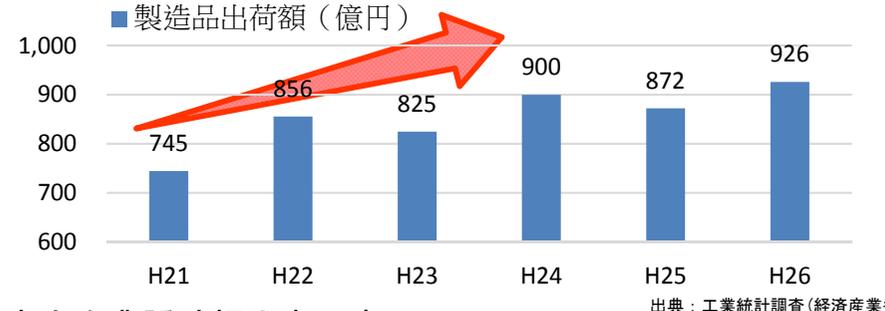
## ■ 雲南市北部における企業団地



## ■ 雲南市の企業立地件数の推移



## ■ 雲南市製造品出荷額の推移



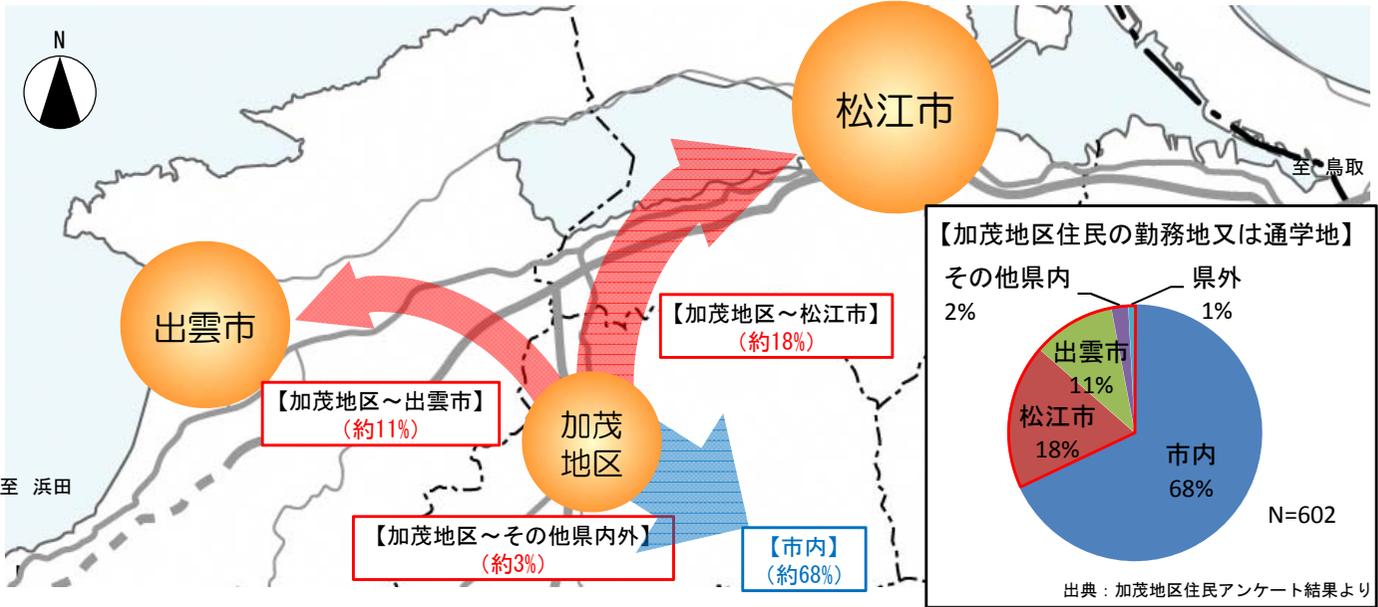
## ■ 雲南市企業誘致担当者の声

・加茂BSスマートICの設置により、工業団地の物流効率化が図れるとともに、現在造成中の神原企業団地に企業進出が進み、更なる地域活性化が期待される。

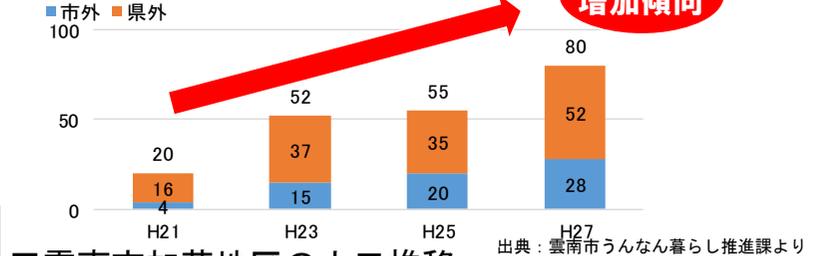
# 2. 企業進出による定住化促進

- 加茂地区は松江市・出雲市へ通勤・通学する人も多く、また近年市内の工業団地や企業団地等への企業進出の影響により、定住地として人気が高く、人口減少が低位に推移。
- 加茂BSスマートIC・神原企業団地の整備による企業進出と、雲南市で進めている住宅団地整備・空き家バンク制度により、一層の定住化促進に期待。

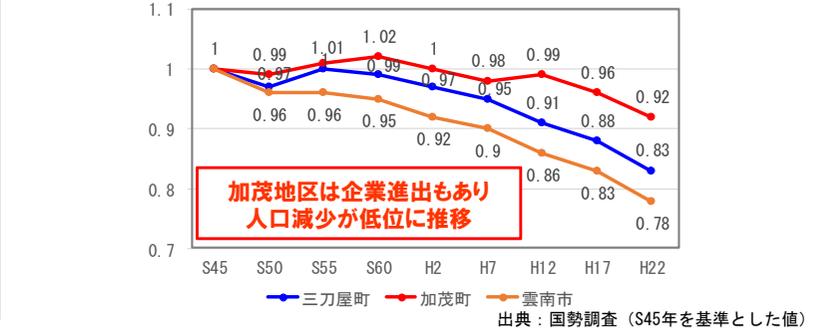
## ■加茂地区における自家用車での通勤・通学流動



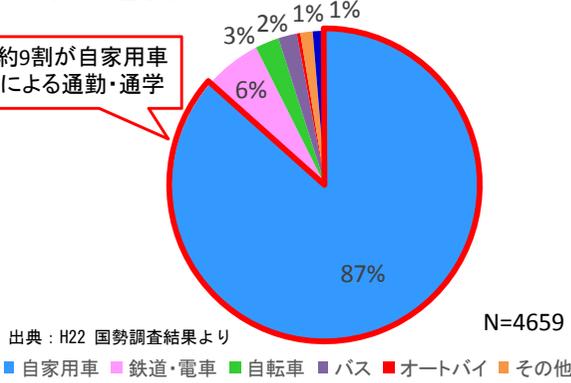
## ■雲南市への移住者数の推移



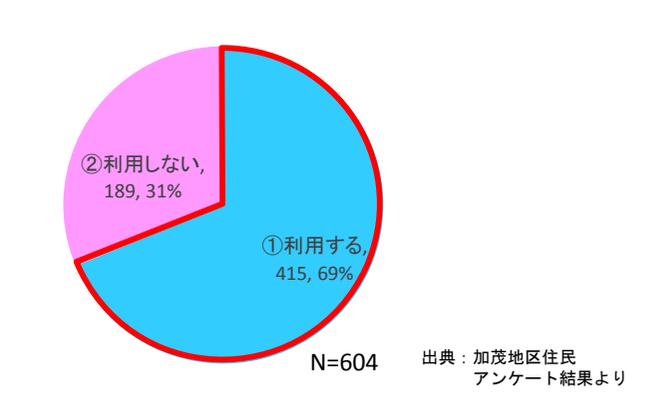
## ■雲南市加茂地区の人口推移



## ■雲南市から松江市・出雲市へ通勤・通学する際の利用交通手段



## ■加茂BSスマートICに整備された場合に利用しますか



## ■加茂地区における定住化促進の取組



【空き家バンク制度】  
雲南市では定住を希望される方に空き家を紹介する“空き家バンク制度”を設けている。

【関連する補助金】

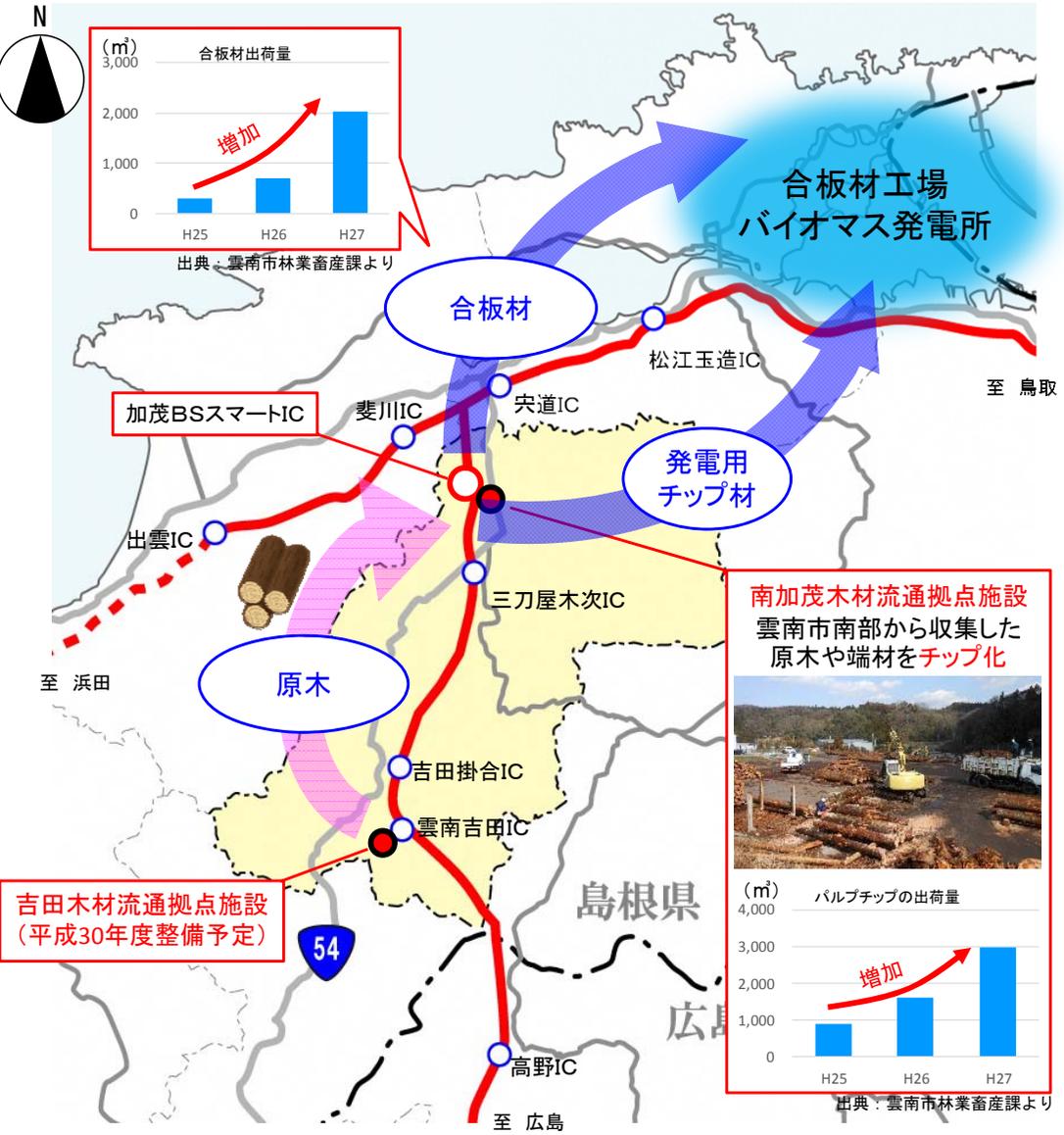
- ・空き家片付け事業補助金
- ・空き家改修事業補助金
- ・農地付空き家制度

隣接する松江市や出雲市まで、スムーズな車通勤が可能となり、松江市や出雲市からのベッドタウンとして更なる定住化が期待される。

# 3. 地域資源である森林資源の活用促進

- 森林面積が市域の約8割を占める雲南市では、平成27年に南加茂木材流通拠点施設の整備を行うなど森林資源の活用を強化。
- 南加茂木材流通拠点施設の最寄ICとなる加茂BSスマートIC整備は、南加茂木材流通拠点施設から発電用チップ材や合板材の販売、出荷の効率化に寄与。

## ■ 木材流通の状況



## ■ 南加茂木材流通拠点の概要

**【概要】**  
平成27年度に森林バイオマスエネルギー事業の拠点施設として活用するとともに、作業場を整備して供用を開始している。雲南市では森林整備と地域振興を目的としたバイオマス事業に取り組み、チップボイラーを設置して事業を展開している。

## ■ 雲南市森林バイオマスエネルギー供給システム フロー図



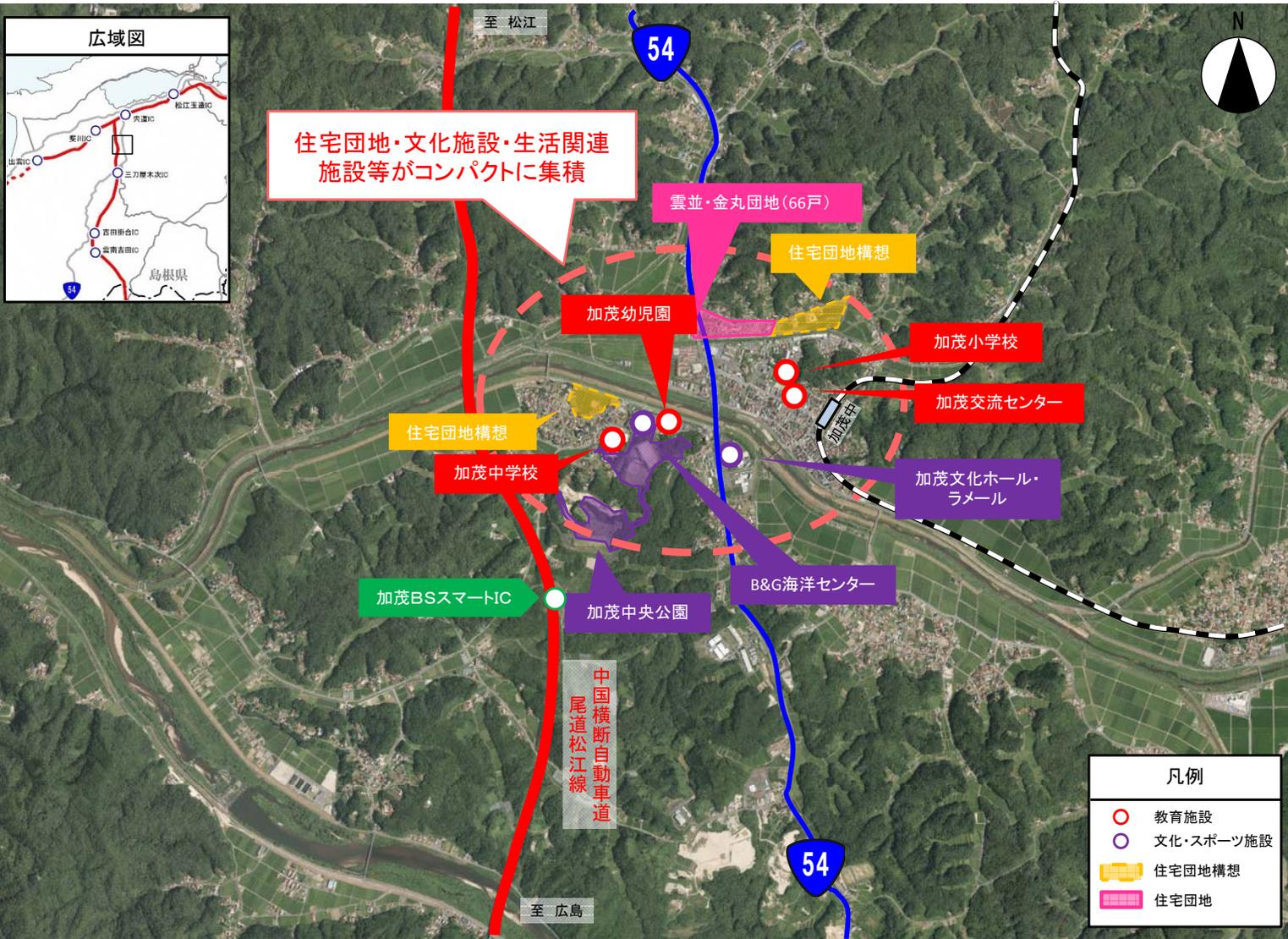
## ■ 今後の事業展開

雲南市南部に新しく吉田木材流通拠点施設の整備を予定しており、加茂BSスマートIC付近にあるパルプチップ工場から合板工場やバイオマス発電所へ尾道松江線を利用した効率的な運搬が可能。

# 4. コンパクト+ネットワーク構築による定住促進①

- 雲南市加茂地区は、定住機能エリアに位置づけられており、初等中等教育施設・文化施設・生活関連施設等がコンパクトに集積。
- また、拠点エリアを結ぶバスや列車等の公共交通ネットワークが形成されていることから、住宅団地の整備が進展。
- 加茂BSスマートICの整備により近隣都市拠点間のネットワークが強化され、加茂地区の利便性の向上、更なる定住促進に期待。

## ■加茂地区周辺の都市・生活機能

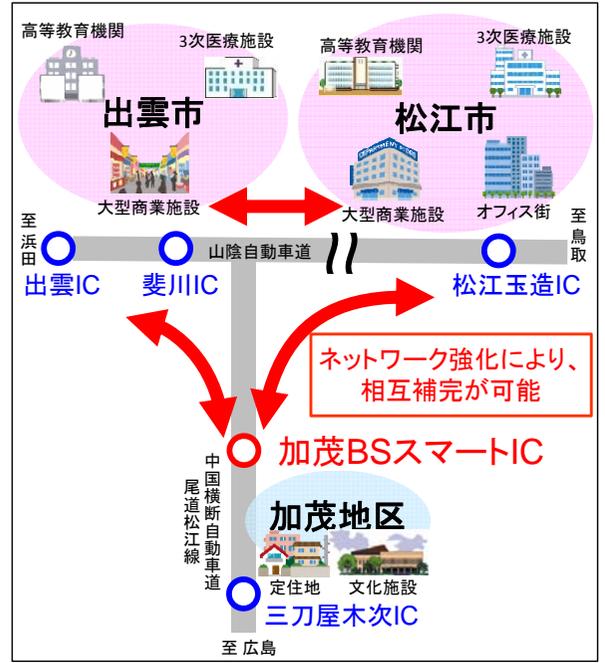


## ■住宅団地の整備状況



写真:金丸団地

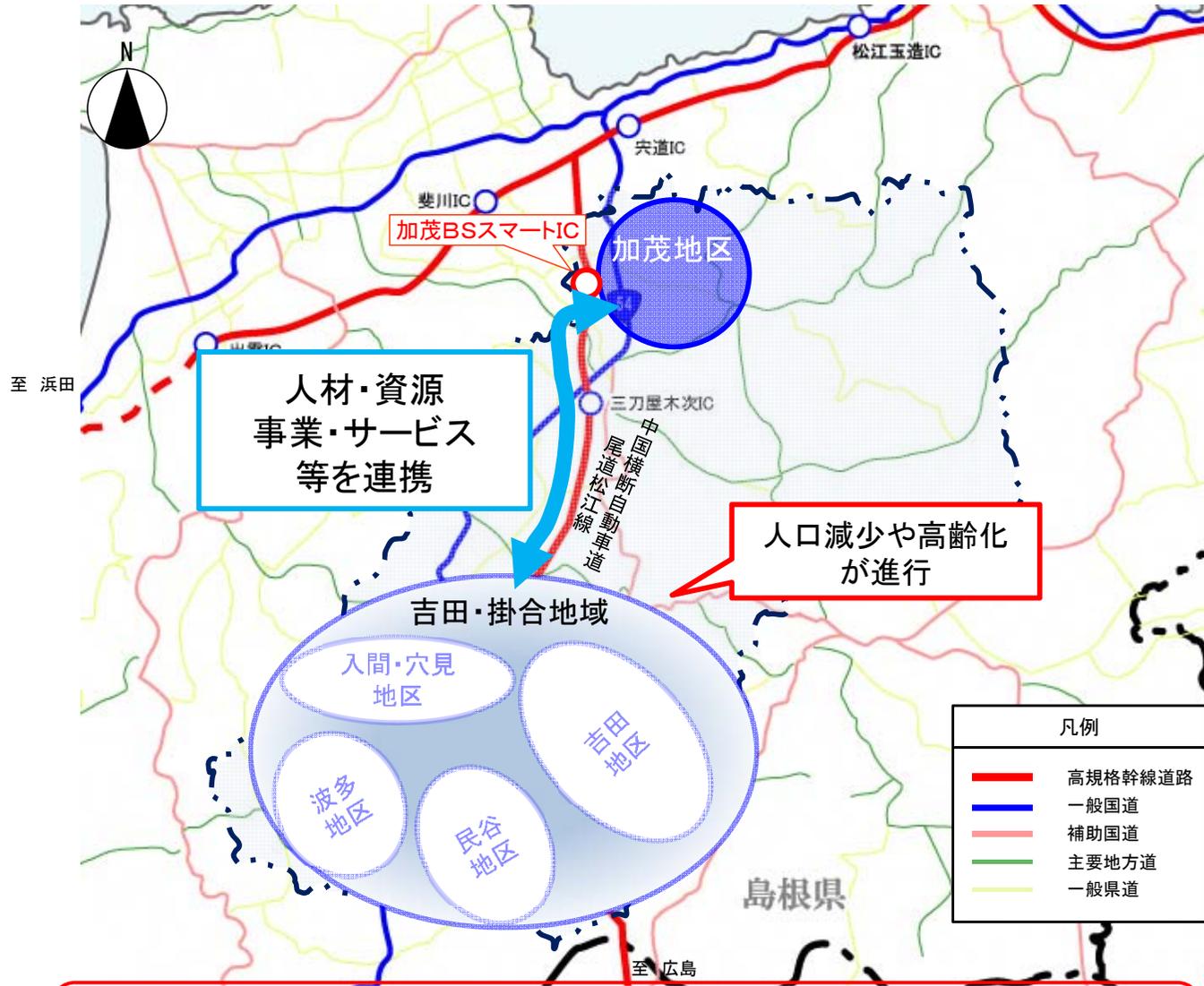
## ■コンパクト+ネットワーク概念図



# 4. コンパクト+ネットワーク構築による定住促進②

- 雲南市は協働のまちづくりに取り組んでいる。加茂地区では加茂まちづくり協議会を設立し、地域の資源・人材を活かし地域課題の解決に取り組中。しかし今後、少子高齢化の進展によっては、地域内だけでの取組では不十分な地区の出現も想定される。
- 加茂BSスマートIC整備は、加茂地区と吉田・掛合地域等の時間距離を短縮し、地域間交流の促進・地域の維持・存続に貢献。

## ■加茂地区と吉田・掛合地域のまちづくり協議会連携イメージ図



コンパクト+ネットワークの構築で「小さな拠点」間の交流を促進し、地域活性化を図る

## ■雲南市の協働まちづくり

雲南市は地域に生き残ることを目的に「地域自主組織」を設立し市民が主体的に関わる協働のまちづくりに取り組んでいる。「地域自主組織」では地域ごとの課題を地域の特性、人材を活かし課題解決を図っている。

## ■協働のまちづくり取組状況

【入間・穴見地区】



写真：廃校の活用(宿泊施設)

【吉田地区】



写真：地域芸能の復活

【波多地区】



写真：地区内唯一の小売店開設

【民谷地区】



写真：田植え体験

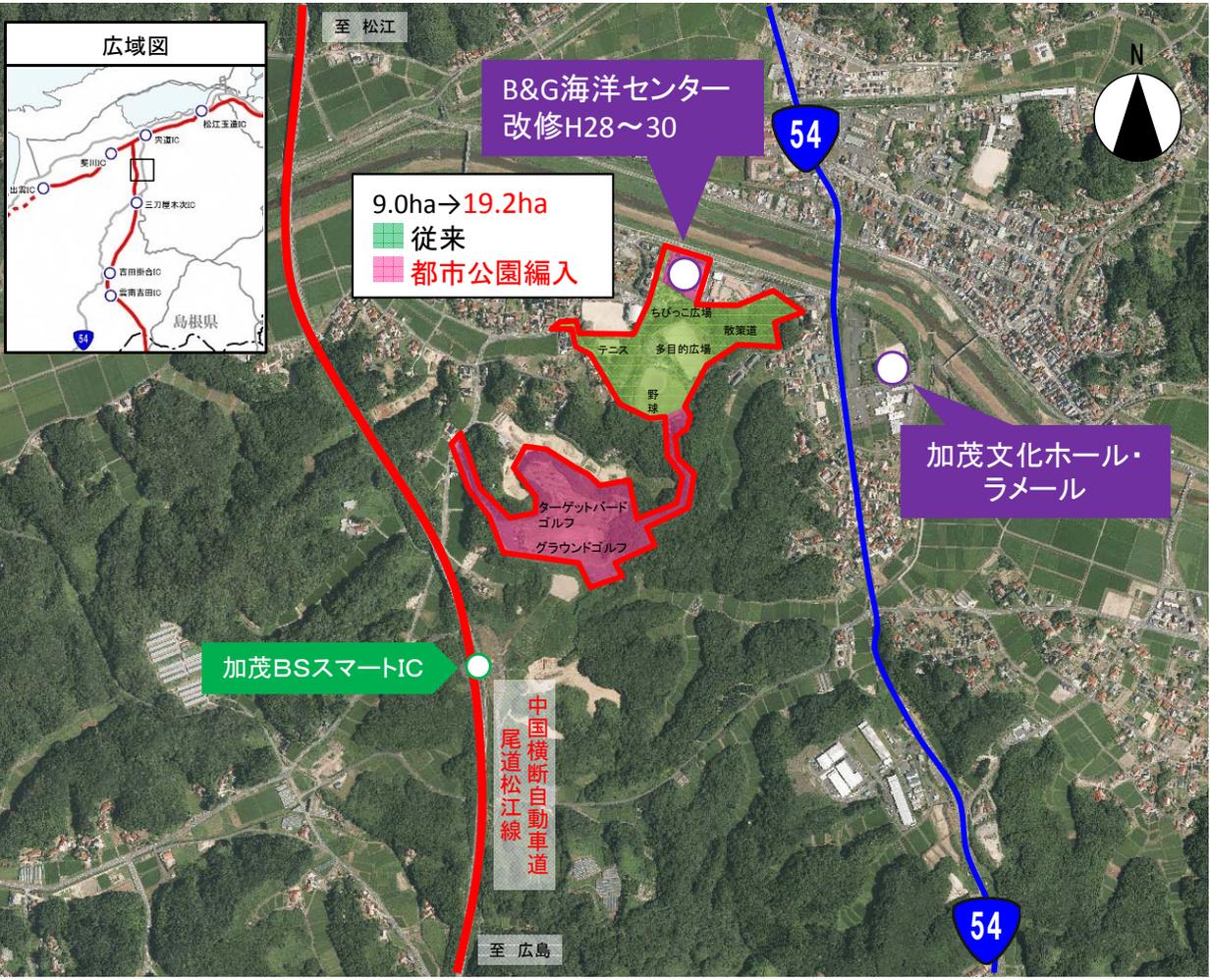
現在は地域内限定の人材活用や事業を展開しているが、今後の人口減少による担い手不足や高齢化によるサービスの維持が困難になると想定される。

雲南市の南北間での地域間交流が必要不可欠

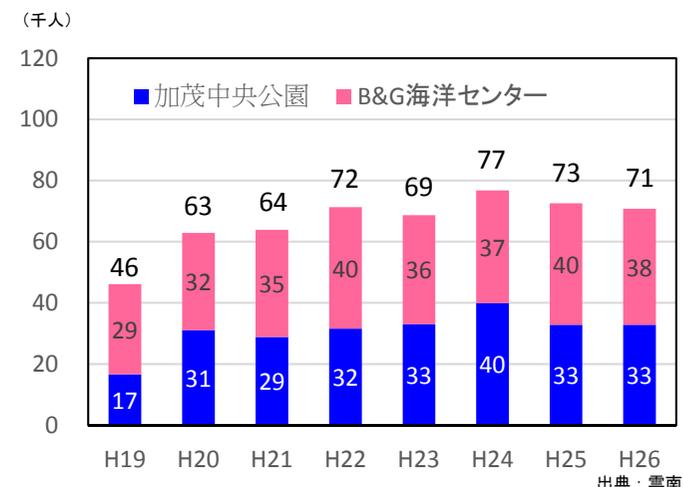
# 5. スポーツを通じた地域振興の支援

- 雲南市加茂地区は、全国大会優勝者が多数活動するB&G海洋センターや、西日本随一のターゲットバードゴルフ場、グラウンドゴルフ場と野球場を併設する加茂中央公園を有しており、スポーツが盛んな地域である。
- 現在雲南市では施設の老朽化対応と質的改善として、B&G海洋センターの改修及びプールの温水化、加茂中央公園の総合公園化等を実施しており、施設の一体運営に取り組んでいる。
- 加茂BSスマートIC整備により市内外からのアクセス性の向上とともに、スポーツ施設を再編成することによる相乗効果により、更なるスポーツ振興が期待される。

■スポーツ振興拠点の位置図



■加茂中央公園とB&G海洋センターの利用者数の推移



【B&G海洋センター】



写真：加茂レスリングクラブ

【加茂中央公園】



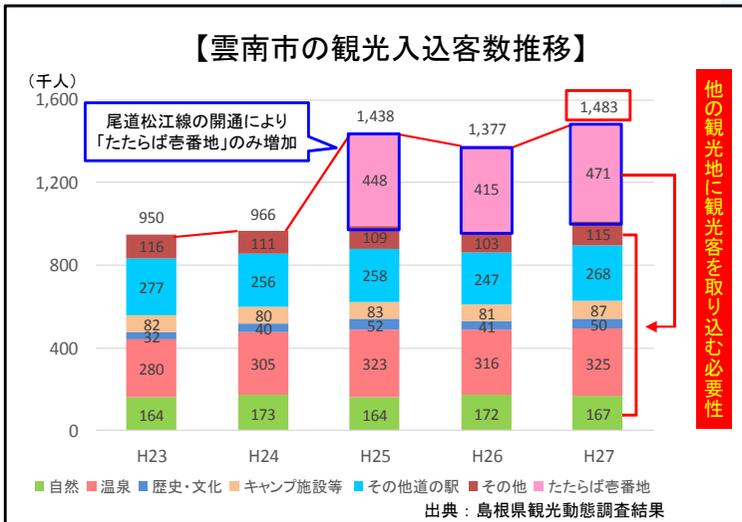
写真：グラウンドゴルフ大会

市内外からのアクセス性強化によりスポーツを通じた地域振興に貢献

# 6. 広域連携による周遊観光の支援

- 尾道松江線の開通に伴い、道の駅“たたらば壱番地”の観光客数は増加したが、他の観光地に大きな変化は見られない。
- 道の駅“たたらば壱番地”を利用している観光客の目的地は主に**出雲市**及び**松江市**であり、雲南市として通過観光客の誘致が必要である。
- 雲南市北部には国の史跡として指定されている**加茂岩倉遺跡**や、そこから出土した銅鐸は“**島根県加茂岩倉遺跡出土銅鐸**”として**国宝**指定されていることから、観光振興として大きなポテンシャルを秘めており、加茂BSスマートICを活用する事で、雲南市北部を含めた新たな周遊観光が期待される。

## ■観光施設の位置図



写真：加茂岩倉遺跡



写真：海潮温泉

# 7. 災害時における代替路の確保

- 雲南市加茂地区は、一級河川斐伊川とその支流赤川が流れており、過去に幾度も浸水被害を経験。近年は50mm以上の豪雨発生確率が上昇しており、国道54号が浸水により通行止めとなる可能性が高い状況。
- 幹線道路である国道54号が浸水想定区域であり、大雨発生時には加茂地区と市中心部が分断される可能性がある。
- 加茂BSスマートICは、災害発生時に加茂地区と他地域と結ぶ代替路として役割を果たすとともに、雲南消防本部からの救急活動や経済活動を確保。

## ■加茂地区における浸水実績

日付	冠水理由
昭和39年 7月15日～16日	梅雨時期における大雨により加茂地区冠水
昭和47年 7月9日～12日	台風6号・8号により加茂地区冠水
平成18年 7月19日	梅雨時期における大雨により三刀屋町地内冠水



写真 平成18年度 国道54号冠水状況

## ■浸水想定区域

